

競 技 注 意 事 項

- 1 この大会は、2022年日本陸上競技連盟競技規則、及び本大会の規定により審判する。
※競技規則 TR5.2 に適合しないシューズの使用は認めない。ただし、踵より前底部の靴底が厚いフィールド競技用シューズについては TR5.2 の適用を除外する。
- 2 招集について
 - (1) 招集場は、本部ダッグアウトの上段に設ける。
 - (2) 種目別の招集開始および完了時刻は、プログラムの競技日程欄に記載されている。
 - (3) 招集の手順
 - ① 出場選手は、招集場に掲示した実施種目の一覧表を確認し、記載事項に誤りがあれば競技者係にその旨を伝える。
招集開始時刻までに招集場で待機し、本人が点呼を受ける。その際に、ナンバーカードとスパイクのチェックを受け、トラック競技（リレーを除く）のうち、800mまでの決勝種目では別アスリートビブスを、1500m以上の種目では別アスリートビブスと別腰ナンバーを受け取ること。
 - ② 点呼の代理は認めない。但し、同一時刻に2種目以上出場する者は、必ず事前（第1種目の招集完了時刻まで）に招集場で競技者係から多種目出場同時届の用紙を受け取り、必要事項を記入のうえ提出し、許可を得ること。その際、招集に来ることができない種目の点呼（アスリートビブス、腰ナンバー、スパイクシューズ等の点検）を受けておくこと。
 - ③ 招集完了時刻に遅れた競技者は、出場の意志がないものとして処理する。
- 3 練習については、補助競技場が付設されていないので、競技に支障をきたさない範囲で競技場内での練習を認める。但し、投てき練習は一切認めない。
- 4 スターティングブロックを含め、用具については競技場備え付けのものを使用する。
但し、ハンマー・やりは数が少ないので、各校より持ち寄るものとし、その用具については、競技開始時刻の1時間前に、本部横で検査を行う。
- 5 レーン順と試技順は、プログラムの各自のナンバーの前に記載の番号順とする。
- 6 決勝の組合せは、すべて番組編成員が公平に抽選し、招集場および公式掲示板に掲示する。
- 7 リレーのオーダーは、招集場で競技者係から用紙を受け取り、オーダー他必要事項を正しく記入し、招集完了時刻の1時間前までに競技者係に提出する。
- 8 バーの上げ方は、次のとおりとする。

| | | | |
|-----|----|----------|---------------------------------|
| 走高跳 | 男子 | 練習(1m20) | 試技 1m25 ~ 〈以降 1m75 までは 5cm きざみ〉 |
| | | | 1m78・1m81 ~ 〈以降 3cm きざみ〉 |
| | 女子 | 練習(1m00) | 試技 1m05 ~ 〈以降 1m45 までは 5cm きざみ〉 |
| | | | 1m48・1m51 ~ 〈以降 3cm きざみ〉 |

順位決定のためのバーの上げ下げは、走高跳は2cmとする。
- 9 競技場で使用するスパイクピンの長さは9mm以下の全天候型ピンを使用すること。但し、やり投と走高跳は12mm以下とする。先端の尖ったニードルピン等は走路を傷めるため禁止する。